

活力ある子どもを育成する小学校と大学との 協働的実践研究

1. プロジェクトメンバー

笹山 健作, 小川 孝司, 森 敏昭 (教育学部初等教育学科)

2. プロジェクトの背景

子どもの身体活動減少は心身へ重大な悪影響を及ぼし、それが成人へと移行することで国家全体の活力低下が懸念されています。そのため、諸外国では子どもの身体活動の実態を調査した上で、身体活動ガイドラインを作成し、「中高強度身体活動^{※1}を一日合計 60 分行うこと」を推奨しています。一方、我が国の子どもの中高強度身体活動の客観的エビデンスは諸外国と比べて乏しい状況です。したがって、子どもの中高強度身体活動を明らかにすることは、我が国にとって喫緊の課題となっています。

※1: おおよそ早歩き以上の強さの身体活動

3. プロジェクトの進捗状況

小学生を対象に加速度計(下記写真)を用いて中高強度身体活動の調査を 9 月に実施しました。今後は得られたデータを整理するとともに、小学校の教職員と大学教員で共有化し、教材化を図ります。加えて、大学と小学校で教材化した本研究の知見を子どもとその保護者へ提示し、実践を行う予定です。

